

SDGs 達成に向けた宣言書

宣言者 所在地 鹿角郡小坂町小坂字台作 1-2
 名 称 ポークランドグループ
 代表者 豊下 勝彦

「桃豚」と「あきた美豚」のポークランドグループ

は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を次のとおり宣言します。

SDGs 達成に向けた取組方針等と目指す姿

養豚は多くのエネルギーを必要とし、環境に与える負荷も大きい業種です。
 ポークランドグループでは“養豚を中心とした資源循環型・地域循環型農業”の確立を創業当初から目指してきました。
 これからも“環境にやさしい養豚”を目指し使用エネルギーの削減、農家と連携することで地域農業の活性化や資源循環型農業の確立、飼料自給率向上へ継続的に取り組み、“生産者は消費者の健康に責任がある”という理念のもと、安心して食べてもらえる豚肉を育て、供給することで持続可能な「養豚」に取り組んでいきます。

3 側面 (主な分野に☑)	SDGs 達成に向けた 重点的な取組	2030 年に向けた 指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況 初回登録年月日：R 3 年 11 月 19 日	関連する主な SDGs ゴール (最大 3 つ)
☑経済 ☑社会 ☑環境	消費者に安心して食べてもらえる桃豚の生産	・グループ内養豚農場における JGAP、農場 HACCP 認証の継続取得	・グループ会社の食肉加工所「まんまランド」にて秋田県版 HACCP の運用継続中	12
☑経済 □社会 ☑環境	・養豚中心の資源循環型農業の実践 ・廃棄物の再利用 ・エネルギー削減	・養豚農場から排出される糞尿の再資源化（堆肥、生物活性水）、地域農業への利用を増加させる ・グループ全体による環境 ISO14001 認証の継続取得	・堆肥の新規取引先 1 件 大口全 9 件 ・R 6.2.20～21 ISO14001 更新審査実施	13 15

☑経済 ☑社会 ☑環境	地域農業の活性化	・秋田県産を中心とした国産飼料用米をエサとして与えることで飼料原料の自給率向上させる ・飼料用米を与えた豚肉のブランド化の継続実施 ※パルシステム：「日本のこめ豚」 ※いとく・タカヤナギ：「米っこ桃豚」	・産直取引先の生協グループ「パルシステム」のプライベートブランド豚肉「日本のこめ豚」向け飼料を秋田県産飼料用米の配合率40%へ増量した生産及び組合員への供給継続中 ・上記豚肉を地元販売向けの新ブランド「あきた米育ち 秋田美豚」として直営直売所及びオンラインショップでの販売継続中	12 15

ゴール番号	内容	アイコン
1	貧困をなくそう	
2	飢餓をゼロに	
3	すべての人に健康と福祉を	
4	質の高い教育をみんなに	
5	ジェンダー平等を実現しよう	
6	安全な水とトイレを世界中に	
7	エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	
8	働きがいも経済成長も	

ゴール番号	内容	アイコン
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	
10	人や国の不平等をなくそう	
11	住み続けられるまちづくりを	
12	つくる責任、つかう責任	
13	気候変動に具体的な対策を	
14	海の豊かさを守ろう	
15	陸の豊かさを守ろう	
16	平和と公正をすべての人に	
17	パートナーシップで目標を達成しよう	